



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9353 URL <http://www.sakurajima-futo.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平井 正博
 問合せ先責任者 (役職名)取締役(総務担当) (氏名)増田 康正 (TEL)(06)-6461-5331
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 957 | 9.7 | △27 | — | △1 | — | △7 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 872 | △13.9 | △72 | — | △50 | — | △51 | — |

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 88百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △158百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | △0.50 | — |
| 29年3月期第1四半期 | △3.41 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 6,121 | 3,822 | 62.4 |
| 29年3月期 | 6,043 | 3,748 | 62.0 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,822百万円 29年3月期 3,748百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | — | — | 1.00 | 1.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成30年3月期(予想)の期末配当金については、未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|-------|------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,000 | 1.0 | 0 | — | 30 | — | 30 | — | 2.00 |
| 通期 | 4,300 | 4.1 | 40 | 237.7 | 85 | 57.3 | 75 | 886.3 | 4.99 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 30年3月期1Q | 15,400,000株 | 29年3月期 | 15,400,000株 |
| 30年3月期1Q | 384,321株 | 29年3月期 | 384,321株 |
| 30年3月期1Q | 15,015,679株 | 29年3月期1Q | 15,017,568株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 平成30年3月期の配当金につきましては、現時点では未定とさせていただきます。今後の事業推移や業績見通しを勘案の上で、決定次第速やかに開示を行う予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、世界経済の復調と企業活動の活発化により景気は緩やかに回復しているものの、米国・EUの先進国や中国等アジア諸国の政治経済動向などに懸念があるため、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、将来のいかなる環境においても生き残る企業を目指し、当期より3ヶ年の中期経営計画「Innovation & Progress for 2019」をスタートさせました。同計画では、この3年間を強靱な企業体力を構築する最初のステージとして位置づけており、その達成手段として高付加価値事業の実現、原価構造の改革によるコスト削減、既存機能の活性化などを事業戦略に掲げております。

その旗印のもと、より質の高い物流サービスを提案、お客様ニーズにフレキシブルに対応する一方、新規のお客様や新規貨物の誘致勧誘を行うなどの積極的な営業活動に引き続き取り組んで来たことが奏功し、当第1四半期連結累計期間の売上高は9億5千7百万円となり、前年同期に比べ8千4百万円、9.7%の増収となりました。

売上原価につきましては、売上の伸長に伴い荷役関係諸払費や人件費が増加したことなどから、8億7千6百万円となり、前年同期に比べ4千6百万円、5.6%の増加となりました。一方、販売費及び一般管理費については、経費削減に一層の努力を傾注したことから、1億8百万円、前年同期に比べ6百万円、5.9%の減少となりました。

当第1四半期連結累計期間の損益につきましては、業務推進では前年同期よりも大きく改善したものの、例年実施される定期修理等による納入先の設備稼働率低下等の影響を受け、結果として営業損失2千7百万円（前年同期は、7千2百万円の営業損失）、経常損失1百万円（前年同期は、5千万円の経常損失）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、7百万円（前年同期は、5千1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

(ばら貨物セグメント)

ばら貨物については、例年火力発電所の定期修理の影響により、石炭の入荷が大幅に減少する期間ではあるものの、その他貨物の増加などから前年同期よりも取扱数量が増加したことなどにより、ばら貨物セグメントの売上高は4億8千4百万円となり、前年同期に比べ5千7百万円、13.6%の増収となりました。

(液体貨物セグメント)

液体貨物については、燃料として使用される白油や重油などの荷動きは低調に推移しましたが、原料として使用される工業原料油や化学品については、荷動きが比較的に好調であったほか、新規貨物を誘致しました結果、液体貨物セグメントの売上高は2億3千6百万円となり、前年同期に比べ1千6百万円、7.4%の増収となりました。

(物流倉庫セグメント)

物流倉庫については、前年同期に比べ、冷蔵倉庫の売上高は減少したものの、前年同期に休止していた化学品センターの売上高が貢献したことから、物流倉庫セグメントの売上高は2億2千9百万円となり、前年同期に比べ1千万円、4.7%の増収となりました。

(その他のセグメント)

その他のセグメントの売上高については、売電事業により、前年同期並みの7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は61億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて7千8百万円増加しました。これは現金及び預金が減少するなどしたものの、新たな事業用地の賃借を開始したことに伴い、有形固定資産及び無形固定資産が増加したほか、保有株式の時価の上昇等により投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債合計につきましては、返済が進み短期借入金及び長期借入金が減少するなどしたものの、設備投資代金等に係る未払金（流動負債その他）が増加するなどしたことから前連結会計年度末に比べて5百万円増加し、22億9千9百万円となりました。

純資産合計につきましては、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べて7千3百万円増加し、38億2千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。ただし、修正の必要がある場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,157,726 | 838,927 |
| 売掛金 | 412,743 | 390,481 |
| 有価証券 | 40,000 | 50,000 |
| 貯蔵品 | 21,560 | 25,234 |
| その他 | 348,621 | 456,878 |
| 貸倒引当金 | △5,085 | △4,445 |
| 流動資産合計 | 1,975,566 | 1,757,076 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 987,641 | 1,017,417 |
| その他 | 508,842 | 530,198 |
| 有形固定資産合計 | 1,496,484 | 1,547,615 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,799 | 3,324 |
| その他 | 181,157 | 295,603 |
| 無形固定資産合計 | 184,956 | 298,927 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,896,489 | 2,005,086 |
| その他 | 489,770 | 513,173 |
| 投資その他の資産合計 | 2,386,259 | 2,518,259 |
| 固定資産合計 | 4,067,700 | 4,364,803 |
| 資産合計 | 6,043,267 | 6,121,879 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 208,072 | 187,382 |
| 短期借入金 | 20,000 | - |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 318,858 | 293,868 |
| 未払法人税等 | 6,138 | 5,548 |
| 賞与引当金 | 38,018 | 17,305 |
| その他 | 197,366 | 332,604 |
| 流動負債合計 | 788,452 | 836,708 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 745,882 | 691,935 |
| 役員退職慰労引当金 | 77,283 | 53,952 |
| 環境対策引当金 | 58,751 | 56,933 |
| 退職給付に係る負債 | 2,672 | 3,026 |
| 資産除去債務 | 20,965 | 21,044 |
| その他 | 600,482 | 636,172 |
| 固定負債合計 | 1,506,037 | 1,463,063 |
| 負債合計 | 2,294,490 | 2,299,772 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 770,000 | 770,000 |
| 資本剰余金 | 365,161 | 365,161 |
| 利益剰余金 | 1,933,266 | 1,910,699 |
| 自己株式 | △54,874 | △54,874 |
| 株主資本合計 | 3,013,552 | 2,990,985 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 735,224 | 831,122 |
| その他の包括利益累計額合計 | 735,224 | 831,122 |
| 純資産合計 | 3,748,776 | 3,822,107 |
| 負債純資産合計 | 6,043,267 | 6,121,879 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 872,375 | 957,114 |
| 売上原価 | 829,639 | 876,486 |
| 売上総利益 | 42,735 | 80,628 |
| 販売費及び一般管理費 | 114,878 | 108,093 |
| 営業損失(△) | △72,143 | △27,464 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 274 | 203 |
| 受取配当金 | 22,442 | 23,121 |
| その他 | 3,703 | 7,552 |
| 営業外収益合計 | 26,419 | 30,877 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,865 | 3,324 |
| 遊休設備費 | 1,563 | 1,568 |
| その他 | 16 | 217 |
| 営業外費用合計 | 4,444 | 5,110 |
| 経常損失(△) | △50,168 | △1,698 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 2,430 |
| 特別利益合計 | - | 2,430 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 15 | 3,861 |
| 特別損失合計 | 15 | 3,861 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △50,183 | △3,129 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,341 | 2,423 |
| 法人税等調整額 | △284 | 1,998 |
| 法人税等合計 | 1,056 | 4,422 |
| 四半期純損失(△) | △51,240 | △7,551 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △51,240 | △7,551 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △51,240 | △7,551 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △107,117 | 95,897 |
| その他の包括利益合計 | △107,117 | 95,897 |
| 四半期包括利益 | △158,357 | 88,346 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △158,357 | 88,346 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。